

1. 授業の概要(ねらい)

IFRS(国際財務報告基準)は世界の共通な会計基準を目指して作成されています。それぞれの国の歴史や社会的な慣習で必ずしもすべてが共通にはできない点もありますが、日本の会計基準もこのIFRSの基準と合わせる方向性にあります。

日本でも海外からの資金調達や国際的な取引をする会社は、このIFRSを会計基準として採用しています。グローバルな人材を育成するためにIFRSの基本的な知識を学びます。事例による設問を考えながら理解を深めます。IFRSの特徴的な処理をピックアップして学びます。

2. 授業の到達目標

- ・IFRSの基本の考え方(原則主義、概念フレームワーク、特徴)を理解することです。
- ・日本基準とIFRSの相違点を知ることです。

3. 成績評価の方法および基準

授業への貢献度20%と定期試験80%

授業は教科書で進めます。必ず持参してください。

持参しないと授業に参加できません。

4. 教科書・参考文献

教科書

『橋本尚、山田善隆 共著 『IFRS会計学基本テキスト(第6版) 中央経済社

必要な都度、IFRSに関するニュース等を講義で紹介しします。

5. 準備学修の内容

事前テキストの熟読と授業で紹介したニュース等を参照して自己学習してください。

LMSに補助資料を掲載します。自分で印刷してください。

6. その他履修上の注意事項

テキストを授業に持参すること。講義の途中で皆さんに設問に回答してもらう時間を設けます。設問は考える力をつけるために回答に参加していただきます。簿記と財務諸表の基本的な知識があることを前提とします。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション IFRSとはなにかと学び方について
- 【第2回】 IFRSを学ぶことの意義について学習します。
- 【第3回】 IFRSの基礎知識(IFRS財団とIFRSの構成)について学習します
- 【第4回】 IFRSの基礎知識(IFRSの特徴)について学習します
- 【第5回】 原則主義、概念フレームワークについて学習します。
- 【第6回】 公正価値について学習します。(定義確認)
- 【第7回】 公正価値について学習します。(演習問題)
- 【第8回】 IFRSに基づく財務諸表について学習します。(P/L、B/S)
- 【第9回】 IFRSに基づく財務諸表について学習します。(CF)
- 【第10回】 会計方針、見積りの変更について学習します。
- 【第11回】 収益(収益計算の体系と収益の認定と測定について学習します。(その1)
- 【第12回】 収益について学習します(工事契約、演習問題)。(その2)
- 【第13回】 棚卸資産について学習します。
- 【第14回】 公正価値と収益について復習します。
- 【第15回】 まとめと復習をします。